



科学を文化に!
Science Support Hakodate

はこだて国際科学祭2010
2009.12.12 キックオフ・フォーラム

科学をまちに出してみた


サイエンス・サポート函館 代表 美馬のゆり

科学祭開催の意義

- 目的
 - 時間と場所を集中
 - 科学を文化の一部として楽しむ場をつくる
 - 科学と縁遠い人たちに接近する
- 開催場所
 - 科学にとって普通ではない場所
 - 学校、大学、研究所などではない所
 - 駅、ショッピングモール、テント、公園、海辺、博物館・美術館などの公共空間
- 対象
 - 子どもからお年寄りまで
 - 素人から専門家まで

函館開港150周年

- はこだて国際科学祭
 - 2009年8月22～30日（9日間）
 - 函館から地球の〈環境〉を考える
- 西部地区 地域交流まちづくりセンター
 - 市民向け（特に大人）
- 五稜郭地区 五稜郭タワー
 - 旅行者向け
- 湯の川地区 函館市民会館
 - 家族向け

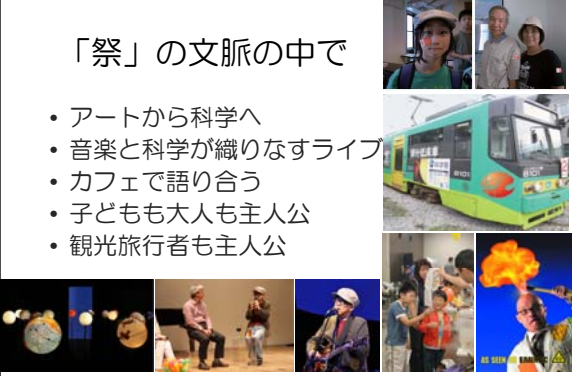


開催実績

- テーマ「函館から地球の環境を考える」
- 2009年8月22日（土）～30日（日） 9日間
- 実施イベント数：19プログラム、71イベント
- 入場者数：のべ8,500人（人口28万人）
- 新聞掲載数：50件
- 北海道新聞の広告タブロイド紙：プログラム13万部配布
- 函館のケーブルテレビ局：特別番組の制作、放映
 - 加入者数3万件超
 - 30分番組×2回シリーズ
 - 9月より2ヶ月間毎日放送（のべ120回）

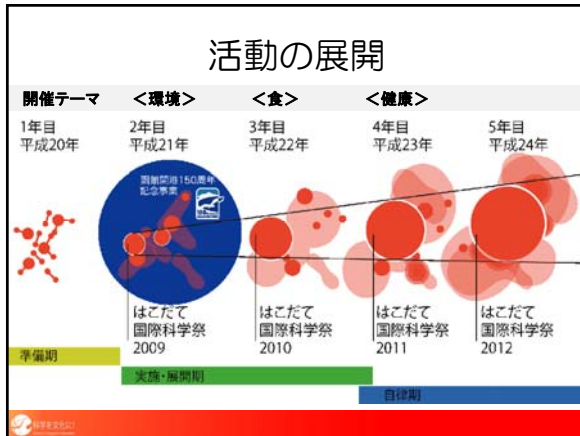
「祭」の文脈の中で

- アートから科学へ
- 音楽と科学が織りなすライブ
- カフェで語り合う
- 子どもも大人も主人公
- 観光旅行者も主人公




効果

- 「科学」をネタに祭ができることの認知
- 科学好きの存在
 - 孤立しないために
- 予想外のつながり、展開
 - 科学教育活動の人々のつながり
 - 組織間のつながり（産学官民）
 - 産学連携人材育成の可能性の発掘
- 教育・学習機会の提供
 - 運営に参加すること
 - 出展者、学生、行政



科学祭の活動を支える

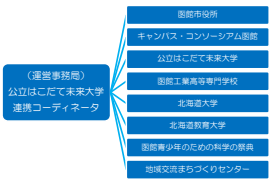
- はこだて科学網
 - 情報共有・発信ウェブサイト
 - 通年のイベント活動
 - 裾野拡大・質向上のための人的ネットワーク
- はこだて科学寺子屋
 - 「科学と社会」をつなげる人材育成
 - 産学官民連携の人材育成
 - まちづくりの人づくり



文化的活動の中での展開

- 函館市
 - 人づくり・まちづくり
- 市民活動の中に「科学技術」を
 - 地域交流まちづくりセンター
 - 産業、行政（北海道庁、函館市役所）など
 - 他の活動や組織との積極的な連携
- 将来的には
 - 運営主体の自立
 - NPO、コンソーシアムなど

サイエンス・サポート函館



(運営事務局) 公立はこだて未来大学 連携コーディネータ

- 函館市役所
- キャンパス・コンソーシアム函館
- 公立はこだて未来大学
- 函館工業高等専門学校
- 北海道大学
- 北海道教育大学
- 函館青少年のための科学の祭典
- 地域交流まちづくりセンター

フェスティバル都市 函館

フェスティバル都市 函館

科学祭	港まつり	野外劇	クリスマスファンタジー	箱館五稜郭祭	イルミネーション映画祭	国際民俗芸術祭	...
-----	------	-----	-------------	--------	-------------	---------	-----



2010に向けて

1. 次世代の育成
2. 五稜郭地区での実施強化
3. 産業界との連携

全国に向けて
函館モデルの提案



科学を文化に!
Science Support Hakkodate